

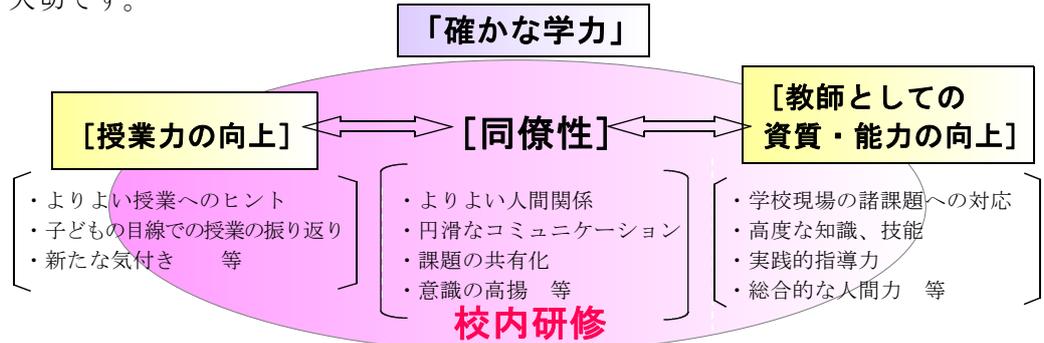
Q2 : 教師の授業力を向上させるための校内研修をどのように充実させたらよいですか。

校内研修の意義

校内研修は、教職員の資質能力を高め、学校教育の充実を図る上で重要な役割を担っています。

研修は、個々の教員の「資質能力の向上」だけではなく、学校全体の「組織力向上」という観点からの充実が求められています。教員同士が学び合い、高め合う同僚性を大切にしながら、一年間を見通して計画的に実施していく必要があります。

特に、学校課題によっては、研究課題に基づき、主に授業研究を通じた課題の解決や授業の目標実現を目指した実践研究を行うところが多いようです。年度の早い時期に全職員が研究の方向性や内容を確認し、共通理解の下で研修を進めることが大切です。



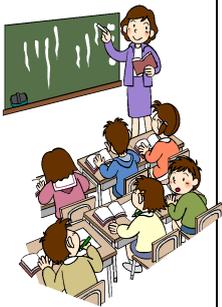
授業力を向上させるための校内研修

そこで、今回は、授業力を向上させるための校内研修について、①学習指導案の検討、②研究授業、③授業研究を中心に説明します。

①学習指導案の検討

学習指導案には、授業のねらいと学校の研究テーマを踏まえた研究の視点や授業実践に当たって研究した点等を詳しく記述する必要があります。また、本時の展開には、指導上の留意点や具体的な支援策について、「何を通してどのように」指導するかを細かに記述することが大切になります。また、作成の段階から多くの教員が関わって、様々な角度から意見を出し合い、「分かりやすい授業」「質的に楽しい授業」に向けて作り上げていくことが大切です。

②研究授業



研究授業における授業を参観する際には、授業のねらいや研究の視点に基づいて授業展開が効果的に進められているか見取ることが大切です。また、どのようにすると子どもたちに分かりやすい授業になるか等を考えながら参観する必要があります。具体的には、授業中の子どもの表情やつぶやき、授業者の発問に対する子どもの反応、ノートの記述等から、どの程度理解しどのように学んでいるかを細かに見取るとは、授業構想や展開、授業中における指導力の向上にも役立つこととなります。

〈授業を参観するときのポイント〉

◆研究の視点の見取り

- ・研究内容の授業への反映状況
- ・研究の視点や研究内容についての指導上の留意 等

◆子どもの姿の見取り

- ・子どもの顔や様子が見える位置
- ・子どもの表情やつぶやき
- ・教師の発問に対する子どもの反応
- ・子どもの学習の取組や変容 等

③授業研究

授業研究は、授業者が構想した授業展開が、子どもの実態に応じたものであったか、どのようにすればよりよい授業展開になったか等を話し合う時間です。授業中に観察した子どもの様子から指導を振り返り、授業の質を高めていくことが大切です。

形式的な意見交換にならないように工夫し、研究の視点に沿った協議を行い、日常の教育活動に反映されるようにすることが必要です。

	○月○日()	○○科	○年○組	授業者()			
	観点1	観点2	その他				
参観になった点	<input type="checkbox"/>						
気になった点	<input type="checkbox"/>						

「組織力の向上を図る校内研修の充実」
(総合教育センター H22.11)

研修のまとめ

上記の流れにより実施した校内研修について、その成果や課題をどのように生かし改善していくかを明らかにして、次につなげていくことが大切です。